

あかるく かしこく たくましく

令和5年9月8日 No. 22 文責：校長 佐野紳二

子どもたちの生活習慣と学力

全国学調の話題も今回が3回目となります。今回は学力調査と同時に進められている児童質問紙の結果と学力について考えてみたいと思います。

全国学調では、教科の学力調査（国語・算数は毎年、理科は4年に1度）の他に、6年生の児童を対象とする質問紙調査を実施しています。質問内容は「朝食を毎日食べているか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」などの生活習慣を問うものや、読書量・スマホの使用時間を問うもの、「国語や算数の勉強は好きか」などの教科に関する意識を問うものなどがあります。そして、この調査の特徴は、これらの質問項目と学力調査の結果のクロス集計（両者の関係を見るような集計）をしているところです。今日の学校通信では、この集計結果から明らかになった傾向についてお伝えします。

* R4年度とR5年度の結果を合わせて紹介します。また、この結果はあくまでも全国的な傾向で、「本校の6年生が…」という話ではありません。

基本的な生活習慣に関わって

- ◇ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たり、テレビゲームをする時間が短い児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。
- ◇ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たり、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする時間が短い児童の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

ゲームやSNS、YouTubeなどの動画視聴の時間が長い児童は、家庭学習の時間を削ってそれらをしているのだらうと推測できます。そのことが結果として、上記のような傾向に現れるのでしょう。ゲームやスマホがすべて悪いと言っているわけではありません。上手に付き合うことが大切だということです。



学習習慣・学習環境等に関わって

- ◇ 学校の授業時間以外に、1日当たり、勉強をする時間が長い児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。
- ◇ 家にある本の冊数が多い児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。
- ◇ 読書が好きな児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

学習時間と教科の正答率については、「そうだろうなあ」と、誰もが納得の結果だと思います。

あとの2つは読書と学力についての考察です。No.20でも書かせていただいたように、子どもたちに必要な学力として「読解力」が求められています。普段から多くの図書に触れ、読書量の多い児童は、きっと長文を読むことにも抵抗は少ないでしょう。



主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関わって

- ◇ 以下と回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。
 - ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
 - ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
 - ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
 - ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

このあたりは我々教師がしっかり見なければならぬ分析だと思えます。学力向上に向けて、どんな授業を行っていけばいいかが見えてくる分析です。

上に紹介したもの以外にも、

- ◇ 国語や算数の授業の内容はよく分かったと回答している児童生徒の方が、それぞれの平均正答率が高い傾向が見られる。
- ◇ 以下と回答している児童の方が、国語の平均正答率が高い傾向が見られる。
 - ・国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている。
 - ・国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。
- ◇ 算数の勉強は好きだと回答している児童生徒の方が、算数の平均正答率が高い傾向が見られる。
- ◇ 算数の勉強は大切だと思うと回答している児童の方が、算数の平均正答率が高い傾向が見られる。

等の分析がなされています。いかがでしょうか？

特に最初の2つ（基本的な生活習慣に関わって、学習習慣・学習環境等に関わって）の分析は、家庭での子どもたちの生活習慣や家庭学習に関わる分析なので、参考になることも多いように思います。ゲームやスマホ等の使用時間、読書についてお子さんと話をいただければ幸いです。

私たちは学力を「子どもを見る視点のひとつ」と考えています。学力だけがその子の全てだとは思いませんが、まだまだ学力を身に付けたほうが将来のさまざまな「可能性」が広がりやすい社会であることも事実だと思います。子どもたちの幸せのために、小笠原小の教師は子どもたちの学力向上を目指していきます。

学力の話は今号で終わりです。

小笠原小学校では、今年も家庭学習取り組み週間を9月から実施します。取組の詳細につきましては別途学校から出された通知や学年通信などを参考にしてください。

学校でも子どもたちに家庭学習の取組について指導を行います。ご家庭でも、子どもたちへの声掛けや家庭学習カードのチェックと捺印などのご協力をお願いします。家庭学習の内容は、学校通信No.20等も参考にいただければ幸いです。

The image shows two pages from a school communication book. The left page is titled "あうちの 5・5ステップ 9月" and lists 10 steps for home learning. The right page is titled "家庭学習 10のステップ 9月" and lists 10 steps for home learning. Both pages include checkboxes for completion and a section for teacher/parent comments.